様式５－２

　　　　　　　　　　　　　復職支援プログラム中間報告書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　９年　７月２３日

　　　愛知県教育委員会　殿

津島市立藤小学校長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　○　　○　○

令和　９年　４月２８日付けで承認を受けました復職支援プログラムについて、その計画書及びその記録を添付し、下記のとおり報告します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 職　氏名 | 教諭　　尾張　あまね |
| プログラム  実施期間 | 令和　９年　５月１７日(月)～　　９年　８月　１３日(金)  実施日数計　６１　日  令和　９年　５月１７日(月)～　　９年　７月　２３日(金)  実施日数計　４７　日 |
| 病 名 | 抑うつ状態 |
| プログラム期間 の本人の状況※ | 実施期間中、予定時刻の１５分前に出校している。生活リズムはしっかりしている。身だしなみは清潔でこざっぱりしている点には変わりは無い。几帳面な性格は変わらないが、冗談を多く言うようになった。児童へも「おはよう」「さようなら」と自分から声を掛けることができた。学校外で趣味を通じての友人が増えたのも、対人間関係の好転に影響したようだ。仕事に対しては熱心なためについつい時を忘れてのめり込むこともあるが、その遂行能力は高い。  むしろ心地よい疲労感によってぐっすり眠ることができ、以前のように不眠で悩まされることは無いと言う。  無遅刻･無欠勤でプログラムを完遂できた。これは本人にとっても大きな自信になっているようだ。 |
| プログラム中間報告での学校長の意見 | 以前の症状はほとんど見られなくなっている。  今後は「執務内容は加重とならないようにする」などの配慮は必要であるが、回復に向かっている。  引き続き様子を見ていきたい。 |
| プログラム中間報告での主治医の意見 |  |

　※プログラム期間の本人の状況については、以下の事項を記入してください。

　　①基本的な生活状況（生活リズム・身だしなみ等）

②他人との交流状況（同僚職員との関係・児童生徒との関係等）

③精神的な活動状況（業務への関心・復職への意欲）

④本人からの訴え（身体面の疲労・精神面の疲労等）

⑤業務実施状況（教科指導・児童生徒指導・学級運営等）

⑥その他